

～開催趣旨～

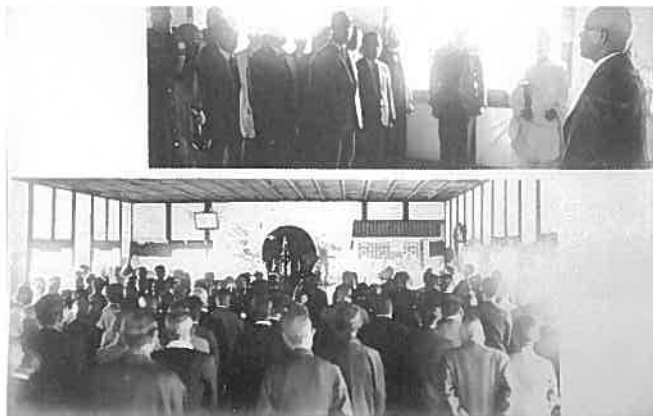
令和7年(2025)は昭和100年にあたる年です。

「昭和」は、60年を超える長い時代であり、その間に日本人は戦争、復興、高度経済成長など様々なことを経験し、その時の状況に合わせながら人々の生活やまちの景色が大きく変化していきました。

本企画展は、現在の山陽小野田市内の様子が写された昭和時代の写真を中心に展示を行い、昭和から平成・令和の時代を生きてきた人たちが、風景の変化や懐かしさを感じながら、改めて「昭和」という時代について考える機会とするものです。

～主な展示品～

※本企画展では、写真はすべてパネル展示とします。



小野田町廃庁式 昭和15年(1940)

館蔵『小野田町町会記念帖』より

11月3日、小野田町と高千帆町が合併し、「小野田市」が誕生した。



厚陽中学校開校 昭和36年(1961)

厚狭図書館蔵

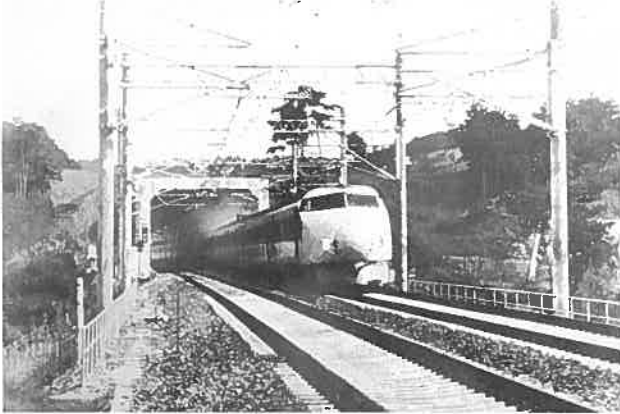
4月に開校したが、約3ヶ月間は、厚狭高校南校舎の一部で授業が行われた。



田辺製薬(株)小野田工場 昭和41年(1966)

館蔵『小野田市民間工場アルバム』より

大正14年(1925)創業。屋上の看板は、まちのシンボルの一つであった。



山陽新幹線試運転 昭和49年(1974)

厚狭図書館蔵

昭和50年(1975)岡山駅～博多駅間が開業した。

表面写真

(上) 高千帆町制施行祝賀 昭和13年(1938) 館蔵

(下) 山陽パーク 昭和40年代

館蔵『山陽パークアルバム』より

山陽小野田市 歴史民俗資料館

Sanyo - Onoda City Museum of History and Folklore

〒756-0802 山口県山陽小野田市栄町9-21 【TEL】0836-83-5600

【WEB】<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/rekimin/>



【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜(祝日の場合 その翌平日も休館)・祝日(土曜日の場合は開館、月曜日を除く翌平日が休館)・年末年始(12/27～1/5)

【交通アクセス】

■電車をご利用の場合

JR小野田線「南中川駅」下車、徒歩7分

■バスをご利用の場合

「小野田駅前」からバスで宇部中央、本山岬、刈屋、理科大、叶松団地行きのいずれかに乗車、約7分

→「硫酸町バス停」で下車、徒歩3分

■車をご利用の場合

山陽自動車道「小野田IC」より 約10分

